

福祉施設のモノづくりと市場の関係

流通、物販の第一線から見る福祉施設の商品について、その魅力とこれからの市場の動きについて考えます。

- 日時** 2015年11月27日(金) 18時～21時(17時30分受付開始)
- 場所** アーツ千代田 3331
- 対象** 福祉施設職員、福祉施設でのモノづくり・商品販売に興味がある人
- 定員** 50名(先着順になります。お早めにお申し込みください)
- 参加費** 2,000円 / 1名(当日受付にてお支払いください)

プログラム 1

百貨店バイヤーの板垣ユカリさんを迎え、流通、物販の第一線から見る福祉施設の商品について、その魅力とこれからの市場の動きについて考えます。

■スピーカー：板垣ユカリ (いたがき・ゆかり)

1989年高島屋大阪店入社、リビング用品販売担当、2000年泉北店宣伝部担当、2003年大阪店宣伝部担当、2006年MD本部関西・食器担当バイヤー、2009年店リビング・サービス営業部フロア計画統括担当、2013年大阪店リビング・台所、家電売場シニアマネージャー兼ストアバイヤーを経て、2015年よりMD本部リビング&フードディビジョンセントラルバイヤーを勤める。

プログラム 2

今年5月に渋谷ヒカリエで開催した期間限定ショップ「HUMORA」の成果報告。出店を通して気づいたこと、感じたことを含め施設商品の可能性と課題について考えます。

■スピーカー：中谷由美子 (なかたに・ゆみこ)

2012年より京都市内の施設で作られた商品を扱う「はあと・フレンズ・ストア」に勤務。2013年に社会福祉法人わたぼうしの会に就職。福祉現場での商品開発等に携わり、2014年からはNPO法人エイブル・アート・ジャパンに勤務。現在は主にエイブルアート・カンパニー東京事務局として、アーティストの作品の商品化のマネジメントや、商品の仕入れ、催事運営等を担当する。

お申し込み・お問い合わせはコチラへ

①氏名 ②所属 ③連絡先(住所/電話番号/FAX番号/Eメール)をお知らせください。

モノづくりサロン受付係(NPO法人エイブル・アート・ジャパン内)

電話 03-5812-4622 FAX 03-5812-4630 メール office@ableart.org